学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	映像表現	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

映像デザイン分野の専門性を深めるため、写真・ビデオ・CGから2領域を選択して学ぶ科目です。機材やアプリケーションの応用的な使い方を習得し、クライアントの意図を汲んだ実践的な制作に取り組みます。制作工程での他者との調整や交流を学び、課題解決に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を養います。真摯な制作態度に加え、自己分析を行う「振り返り」や提出物の充実度を高く評価します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
写真・ビデオ・CGの機材やソフトの操作に習熟し、表現目的に応じた基礎的技術を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
課題を発見し、科学的根拠に基づきクライアントの意図を汲んだ適切な企画・表現力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
他者との関わりを理解し、主体的かつ協働的に映像デザインの発展に取り組む人間性を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	映像デザインの社会的意義や役割、人と技術の関わりを理解し、選択した分野（写真・ビデオ・3DCG）に応じた基礎的・実用的な技術を習得することを重視する。表現目的に合った機材を安全かつ合理的に使いこなして、作品制作に必要な専門的知識・技能を統合する力を評価する。	制作における課題を自ら発見し、科学的根拠に基づき解決する力を評価する。クライアントの意図やターゲットを的確に理解し、制作環境や期日といった制約の中で、適切な技法や構成を論理的に判断・選択する能力を重視する。空間把握や演出効果を考慮し、創意工夫を凝らして自身の考えを視覚的に具体化する表現力を評価対象とする。	映像デザインに対する広い視野と興味を持ち、主体的かつ協働的に取り組む姿勢を評価する。制作に関わる他者との交流や調整を図り、自身の役割を自覚して課題解決に努める態度を重視する。身近なメディアを意欲的に観察・情報収集し、学習内容を自らの意見としてプレゼンテーションするなど、継続的に学びを深めようとする積極的な姿勢を評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期・後期	写真演習コース	カメラ、レンズ、ストロボなどの機能を最大限に活用し、与えられたテーマに沿った写真作品を制作する。撮影場所や環境に合わせた高度な撮影技術を学ぶとともに、プレゼンテーションを通じて他者の作品の見方や考え方を相互に学び、表現の幅を広げる。	a:写真における応用的な専門知識を習得し、安全かつ合理的・効果的に作業を進める技能を身に付けている。 b:与えられたテーマに対して、知識や技術を戦略的に判断し、創意工夫を凝らした独自の視覚表現を構築できる。 c:映像デザインに関する広い視野と興味関心を持ち、身近なメディアを意欲的に観察・情報収集して、得た知見を自己の作品に反映させようとしている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り
前期・後期	CM研究制作	特定のクライアントからの要求を想定し、商品の魅力を伝えるCM映像の企画立案・制作を行います。ターゲットを明確に設定した商品企画から、目的に合った機材の選定、撮影、編集までをトータルに体験する。	a:ビデオにおける応用的な専門知識を習得し、安全かつ合理的・効果的に作業を進める技能を身に付けている。 b:クライアントの要求や制作条件を的確に把握し、科学的な根拠に基づき、ターゲットに響く効果的な表現を論理的に構成・提案できる。 c:映像デザインに関する広い視野と興味関心を持ち、身近なメディアを意欲的に観察・情報収集して、得た知見を自己の作品に反映させようとしている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り
前期・後期	3DCG制作	モデリング、マッピング、ライティング、レンダリングという一連の工程を繰り返し行い、3次元CG制作の基礎を学びます。写真や三面図を用いた実測を通じて空間把握能力を養い、透視図法などの専門的な表記方法を理解する。	a:３DCGにおける応用的な専門知識を習得し、安全かつ合理的・効果的に作業を進める技能を身に付けている。 b:空間把握や時間的演出を考慮し、三次元の見え方やカメラワークについて適切な思考・判断を行い、意図を具体化できる。 c:映像デザインに関する広い視野と興味関心を持ち、身近なメディアを意欲的に観察・情報収集して、得た知見を自己の作品に反映させようとしている。	実習ノート 提出作品 レポート	実習ノート 企画書 実習態度 提出作品	実習ノート 企画書 実習態度 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度